若葉台住宅管理組合協議会
２０１９年度 議 案 書

「きんらん」
〔撮影・提供：松田 薫 氏（元・会計監査・第 14 住宅管理組合）〕

※きんらん【金蘭】〔易経繫辞上「二人同心、其利断金、同心之言、其臭如蘭」〕
友人どうしが力を合わせれば固い金をも断ち切ることができる、
そして友人どうしが志を同じくすれば、蘭の花の芳しい香りがする。

2019年度（第31回）新旧合同役員会

日時：2019年6月２日（日）17時00分～20時00分

会場：4－21 棟「とちのき」集会所

2019年6月

緑のまち横浜若葉台

「100年マンション憲章」

1. 管理組合は、マンションの「長寿命化・再生」を目指し、さまざまな施策と活動を行っていきます
2. 管理組合は、「守る管理」から「攻める管理」を実践していきます
3. 管理組合は、この素晴らしい「住・緑環境」を守り、積極的かつ広域的に協調して管理していきます
4. 管理組合は、世代間の平準化を積極的に図り、「世代循環型団地」の創出を目指します
5. 管理組合は、オール若葉台組織の一員として、魅力ある100年タウンを目指し、「緑のまち横浜若葉台」を創造します

〔若葉台住宅管理組合協議会　2007年度制定〕

2019年6月

2019年度新旧合同役員会次第

司会:若葉台住宅管理組合協議会
事務局長 鴻谷 豊

１．開　会

２．挨　拶
若葉台住宅管理組合協議会 会長 柿沼 鉄雄

3. 資 格 審 査

4. 議 事

議 長　若葉台住宅管理組合協議会 会長 柿沼 鉄雄

イ）第一住宅管理組合の件（審議）

ロ）議案審議
第１号議案 2018年度活動報告、委員会報告
第２号議案 2018年度決算報告、会計監査報告
第３号議案 2019年度幹事及び監事選出の件
第４号議案 2019年度活動計画（案）
第５号議案 2019年度予算（案）

ハ）その他（連絡事項）

5. 閉　会

6. 懇 親 会

2019年6月

議案書目次

議 案

第１号議案　2018年度活動報告、委員会報告----------P.　1

第２号議案　2018年度決算報告、会計監査報告----------P. 17

第３号議案　2019年度幹事及び監事選出の件----------P. 18

第４号議案　2019年度活動計画(案)----------P. 19

第５号議案　2019年度予算(案)----------P. 24

付属資料

若葉台住宅管理組合協議会会則----------P. 25

2019年度若葉台住宅管理組合協議会役員会名簿----------P. 32

若葉台住宅管理組合協議会組織図----------P. 33

若葉台住宅管理組合位置図----------P. 34

2019年6月

第1号議案

2018年度活動報告

○ 2018年度新旧合同役員会（第1回役員会）

2018年6月3日（日） 18時00分～21時00分

（書記：協議会幹事）

会　場 ：4－21棟「とちのき」集会所
出席者 ：54名(含む、懇親会)

議　案 ： 第1号議案 2017年度活動報告、委員会報告
第2号議案 2017年度決算報告、会計監査報告
第3号議案 2018年度幹事及び監事選出の件
第4号議案 2018年度活動計画(案)
第5号議案 2018年度予算(案)

柿沼議長の進行により、第1号議案の2017年度活動報告、委員会報告から第5号議案の2018年度予算(案)まで審議を行ない、特に異議なく議案どおり拍手承認された。

その他、配付資料について説明・依頼等があった。

引き続き、来賓（協議会・山本顧問、連合自治会・山岸会長、まちづくりセンター・森本理事長）各位のご挨拶を賜った後、関係各位の活躍を期して懇親会を行った。

○ 第2回役員会

2018年7月6日(金)　20時～22時10分、4-21棟「とちのき」集会所

（書記：第5住宅管理組合）

冒頭、まちづくりセンター・野口理事より、資料に基づき、平成29年度事業報告及び決算報告について報告・説明があった。但し、今回は全体の概要報告であり、詳細は9月度役員会にて補足説明して頂くことになった。

⑴議事録の確認　①5月度役員会、②2018年度新旧合同役員会
⑵協議会役員会および各委員会の構成について
①役員会メンバーの確認用として、名簿に基づき自己紹介（但し、第一管は、片寄副理事長が代理として継続的に参加する）
②各委員会の専門委員について柿沼会長より推挙（全て再任）があり、承認された。

2019年6月

③各委員会の各管理組合選出委員を確認
④「団地共益費監査機関」の監査委員として下記2名を選出
西口理事長（第5）、金子氏（協議会監事）
⑤管理ガイドブック2019年改訂版編集委員会の立ち上げについて
柿沼会長より下記の様な提案があり、審議した結果、承認された。
要旨：2019年6月に協議会設立30周年の節目を迎えるので、記念事業の一環として管理ガイドブックを全面的に改訂したい。そのための委員会立上げであり、協力をお願いする。幹事側からは3役4名が参加、役員会から第11、第14、第一、くぬぎの4名をお願いしたい。センターからは丸野部長代理以下4名程度を考えている。

⑶役員会および各委員会の運営について
①協議会年会費の納入について（依頼）
②月例役員会の運営方法、書記の持ち回り等
③委員会等の体制並びに運営方法について（確認）
④役員会お茶代の昨年度収支報告と本年度徴収の要否
各管理組合から3，000円を3年分として徴収している。今年度内になくなることが見えているので、新たに徴収したいが如何か。（センター）
⇒管理組合の決算は単年度ごとなので、単年度予算として徴収される方が良い。
⇒理解できる。元々、なぜ役員会お茶代だけ別会計になっているのか理解できないところがあった。協議会会計の会議費の中から出すことを提案したい（柿沼）。
議論の結果、役員会お茶代は、協議会会計の中から出す様に変更された。

⑷委員会等の案内・報告
①各委員長より、本年度の取り組み方針、開催日程等について報告
②柿沼会長より、幹事会報告として、6/16若葉台未来づくり協議会、7/1旭区TMin若葉台、みらいづくりプラン推進会議（C部会）等の報告・説明があった。
③鴻谷事務局長より、協議会HPと役員会HPの紹介がなされた。

⑸協議会関係諸機関の情報等
浜管・加藤会長より、今年度の浜管登録名簿について確認の要請あり。

○ 第3回役員会
2018年8月度は「夏休み」につき休会

◇ 2018年度理事研修会
2018年8月5日（日） 10時～15時15分
（書記：協議会幹事）
会　場　：4－21棟「とちのき」集会所
出席者：43名（含む、懇親会）

・講演Ⅰ：CATV並びに監視警報関係の施設について
講師：鴻谷　豊氏　（協議会・CATV等委員会委員長）

2019年6月

・実地見学会：集中監視施設(防災センター内)
・講講Ⅱ：若葉台のフローリング施工基準について
講師：松原　重智氏（まちづくりセンター・工事課長）
小嶋　昌実氏（まちづくりセンター・不動産流通・リフォーム課長）

特にフローリングの件については、今後増えるであろう騒音トラブル対応として、各管理組合は、現状の規約・細則等を確認して必要に応じ見直しする必要があると認識するきっかけになった。

引続き、管理組合間の情報交換と親交を深めるための懇親会を行った。

○ 第4回役員会

2018年9月7日（金）　20時～21時50分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第6住宅管理組合）

議事に先立ち柿沼会長より、本日予定していた「まちづくりセンターの事業報告・決算報告に関わる補足説明」については、某組合より横やりが入ったので、先送りすることになった旨の報告あり。

⑴前回議事録の確認　①7月度役員会、②2018年度理事研修会

⑵委員会等の案内・報告

①各委員長より、第1回委員会の概要について報告。

②柿沼会長より、8/18若葉台未来づくり協議会、みらいづくりプラン推進会議・住民説明会、こどもみらいづくりプロジェクト、月光寺との第2回打合せ、黒岩県知事の若葉台訪問、MLCPの件、等について報告・説明あり。

⑶管理ガイドブック2019改訂版編集委員会の立ち上げについて（再）

柿沼委員長より、第一が委員派遣を辞退したため、1名減の11名体制で再スタートすること。関連してスタートが遅れたが、9月中旬からスタートする旨の報告あり。

⑷管理組合間の情報交換

第5より、生活圏の段差等の解消に取り組んでいるが、行合橋のスロープが障害となっており、管理組合だけでは対処できない。行合橋の高いところから真下に下りるエレベーターの設置が望ましく、必要なら嘆願書を出したい。

⇒都市計画法上の小規模増築にあたるので、先ず、みらいづくりプラン推進会議C部会での検討が必要になる（4丁目側にもエレベーター設置の要望があり、どちらを優先させるかを含めたルール作りが必要）。（柿沼）

○ 第5回役員会

2018年10月5日（金）20時～22時05分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第7住宅管理組合）

2019年6月

⑴前回議事録の確認　9月度役員会

⑵委員会等の案内・報告

①各委員長より、第2回委員会の概要について報告。

②柿沼委員長より「若葉台管理ガイドブック」という副題を「若葉台生活ガイドブック」と改める旨報告あり。

③柿沼会長より、みらいづくりプラン推進会議、若小全校たてわり活動の件、集団扱いの損害保険に係る集金事務費送金の件、等について報告・説明あり。

⑶協議会関係諸機関の情報等

まちづくりセンター報告：丸野部長代理より下記2点の報告あり。

①台風24号による若葉台全体での被害状況

樹木被害29件、隔壁板の破損39件、ガラス破損3件、照明器具破損1件、その他9件（風圧による隔壁板の破損が予想外に多かった。ベランダには飛ぶ物を置かない様な共通認識を持つことが重要）

②11/25にセンター主催で管理費滞納問題に特化したセミナーを「しらかし」集会所で開催する。

⑷管理組合間の情報交換

詳細は省略するが、今回は第8～第15組合について、各組合が抱えている諸問題について貴重な報告と情報交換があった。

○ 第6回役員会

2018年11月2日（金）　20時～22時10分、3－6棟「施設会議室」

（書記：第8住宅管理組合）

⑴前回議事録の確認　10月度役員会

⑵委員会等の案内・報告

①CATV等委員会報告：鴻谷委員長より以下について報告あり。

10/18に委員会を開催した。12/1から始まる新4K放送の受信についてイッツコムより説明を受け審議した結果、委員会として承認した。

・当面、現状の棟別BS設備で新4K衛星放送（BS右旋4K放送）を受信することになった（高い確率でBS右旋4K放送は受信可能と判断している）。

2016年12月の提案では、イッツコムからBS右旋4K・BS左旋4K8Kを送信する予定だったが、関連機器等が開発中のため、BS右旋4Kは現在の棟別BS設備で受信することに変更となった（BS左旋は棟別BSアンテナでは受信できない）。

・12月以降、新4KTVを設置し、万一不具合があった場合は、イッツコムに連絡し、イッツコムが個別に一次対応する（従来通り、イッツコムが原因調査し対応する）。

・4K放送受信に関するガイドラインの作成と「タウンニュースわかば」への記事掲載を検討している。

役員会としてもこれらの委員会報告を承認することになった。

2019年6月

②柿沼会長より、第3回みらいづくりプラン推進会議、若葉台未来づくり協議会、等に関する報告・説明あり。

⑶「住宅管理に関する定期懇談会」（第14回）の議題審議

柿沼会長より、資料に基づき、説明があり、原案通りにて了承された。

⑷協議会関係諸機関の情報等

まちづくりセンター報告：丸野部長代理より下記の報告あり。

まちづくりセンターからの昨年度の決算報告に関する補足説明が遅れており、申し訳ない。某組合から横やりが入っており、その調整に手間取っている。

⇒本件は、5年ほど前の協議会とセンターの話し合いで、この場に報告してもらうことになった経緯があるので、きちんと対応して欲しい。

⑸管理組合間の情報交換

詳細は省略するが、今回は第7～くぬぎ組合について、各組合が抱えている諸問題について貴重な報告と情報交換があった。

○ 第7回役員会（定期懇談会前の短時間開催）

2018年12月7日(金)　19時～19時45分、3－7棟「しらかし」集会所

（書記：協議会幹事）

⑴前回議事録の確認　11月度役員会

⑵委員会等の案内・報告

①各委員長より、第3回委員会の概要について報告。

②CATV等委員会からの報告：鴻谷委員長より下記について報告あり。

・「BS右旋4K放送の受信に関するガイドライン」は、住民にとって分かり易いものなので、管理組合として住民に広めて欲しい。

・BS右旋4K放送開始に伴い、住民からイッツコム若葉台に相談があった場合は、情報共有のために、今後イッツコムより情報提供される。

③柿沼会長より、こどもみらいづくり宣言、台風24号による若葉台樹林地の被害と復旧について、等の概要報告・説明があった。

⑶協議会関係諸機関の情報等

まちづくりセンター報告：丸野部長代理より下記について報告あり。

①横浜市水道局より、若葉台東側バス道路沿いの水道本管の交換工事（耐震性能の良い管に交換）を行う旨、連絡が入っている。これに伴い、一時断水が予定されているので留意願う。（具体的には、第一、東、第5、第6の範囲）

②センターが提携している司法書士が、相続やリバースモーゲージといった件での無料相談・セミナー開催に応じてくれるので活用願う。

◇ 住宅管理に関する定期懇談会(第14回)

2018年12月7日(金)　19時45分～22時00分
（書記：協議会幹事）
会場：3－7棟「しらかし」集会所
出席者：30名（含む、懇親会）
趣旨：「若葉台の住宅管理に関する諸課題についての意見交換と認識の共有」

1.「横浜若葉台みらいづくりプラン推進会議」の進捗について

公社・吉田（祥）課長より、みらいづくりプラン推進会議ニュースを基に説明あり。

・都市計画変更と事業用地利活用の推進に関しては、8月に3回開催した地域説明会後の動きとして、横浜市の権限で変更を行う準備をしており、現在、市の方で法定図書を作成して、法定手続きに移る状況である。早ければ来年暮くらいに都市計画変更の告示となる予定。

・旭区も大規模団地再生に取り組むことが決まり、旭区の方で人とお金を投入し始めている（行政が特定地域にお金を投入することは珍しい）。

・全体像としては、地域の方々と連携する中、オール若葉台で推進して行きたい。

引続き、公社・吉田（祥）課長より、「モビリティと連携したまちづくりの推進に係る協定を締結」について説明あり。

・横浜国大がモバイル機器でバスの運行状況の可視化のシステムを構築しており、まちづくりセンターが公益事業で行っているコミバス「わかば号」に実証実験として採用することになった。PR用のディスプレイを現在「ひまわり」に置いているが、将来的にはスマホ等のモバイル機器で見られる様にして行きたい。

2. 団地共益費（250円／戸）の現状について

公社・岡部部長並びにまちづくりセンター・丸野部長代理より、団地共益費の概要に関して資料に基づき説明あり。

・団地共益費とは、公社所有の警報監視設備の維持管理業務（団地共益業務）の費用であり、利用者で負担して頂いている。また、維持管理業務はまちづくりセンターに一括委託している。

・今後、費用面で厳しくなることが想定されている。現在、まちづくりセンターで長期修繕計画に関して今年度中を目途に見直しを行っている。来年度の消費税アップ、人件費や資材の値上げ等含めてシミュレーションを行う。

・今の状態で推移すると2026年度には不足となる。修繕計画はメンテ事業者から出てきている値であり粗々の状況。今後各事業者と詰めて行く。監視宅業務費は2020年以降3年毎に3％アップの値を入れてある。

・現状まだ粗々な数値であるが、先が見えているので本日は頭出しをさせて頂いた。2019年度に入って改めて団地共益費の在り方を提案させて頂きたい。

3. まちづくりセンターの活動等について

まちづくりセンター・野口理事より、本年、センターが無事に40周年記念を迎えることができた件に対する御礼があり、その上で以下の3点について説明があった。

①住み替え支援促進プロジェクト
・潜在的売主の掘り起こし
・買取再販業者との提携
・転出入バンクの機能強化
・分譲→賃貸ニーズのへの対応
②コミュニティバスの運行
・今年4月にルート等大幅見直しの実施
・横浜国大との連携で運行状況をみることができるシステムを実験中
③商店街の状況
・近年の入退店状況
・空き店舗解消に向けた取り組み

説明を受けての質疑応答の詳細については、ここでは省略する。
引続き、出席者間の親交を深めるための懇親会を行なった。

○ 第8回役員会
2019年1月11日(金)　20時～22時15分、3－6棟「施設会議室」
(書記:第9住宅管理組合)
冒頭、まちづくりセンター・森本理事長から、新年の挨拶と以下について検討している旨の情報提供があった。
・老朽化に伴い、水漏れトラブルがここ1～2年で5～6年前に比べ3倍くらいに増えてきている。共用部と専有部の繋ぎ部分を含めた修繕が必要になってきている。各棟で異なる状況なのでどの様に修繕すべきかまちづくりセンターより各組合と相談し提案して行きたい(事故の度に保険で対応するのではなく、管理組合・棟毎に一斉修繕を考えたい)。
⇒本件は100年マンションプロジェクトの設備小委員会で検討した管理規約改正の推奨に繋がる話であり、各管理組合にとって興味ある内容でもある。専有部分を含むのでそう簡単に進む話ではないが、ぜひ、一緒になって進めて行きたい(柿沼)。

続けて、まちづくりセンター・野口理事並びに丸野部長代理より、昨年9月より延び延びとなっていたまちづくりセンターの決算報告並びに具体的取組みに関する補足説明がなされた。

⑴前回議事録の確認 ①12月度役員会、②住宅管理に関する定期懇談会
⑵委員会等の案内・報告

2019月年6月

生活ガイドブック編集委員会報告：柿沼委員長より、第2回、第3回委員会について概要説明があった。

・第7以降は新耐震基準で設計されており、かつ、第6も検査申請は新耐震適用日以前だが、実際には新耐震に合格する設計がなされていることを確認した。この点は追記したい。

・形状・設備の異なる建物が同じ組合にある場合の不公平との疑問について
⇒エレベーターの利用頻度、専用部分面積の違い等により、同じ管理費の負担について疑問を持たれる住民もいるが、分譲時の条件を遵守せざるを得ないことを説明して行くしかない。

幹事会報告：

①柿沼会長より、こどもみらいづくり宣言、12/15若葉台未来づくり協議会、等について報告・説明。

②蜂須賀会計並びに金子監事より、18年度会計中間報告がなされた。

③柿沼会長より、来期、福田幹事が退任されるため、東マンションより幹事候補を出せないか打診あり。東マ・佐藤理事長が持ち帰り、検討することになった。

○ 第9回役員会

2019年2月1日（金） 20時～21時35分、3－6棟「施設会議室」

（書記：協議会幹事）

(1)前回議事録の確認 1月度役員会

(2)委員会等の案内・報告

①各委員長より、第4回委員会の概要について報告。

②柿沼会長より、こどもみらいづくり宣言への対応の件、駐車場問題に関する公社との打合せの件、等について報告・説明があった。

③次期幹事の件については東マ・佐藤理事長より、「協議会に協力せざるを得ない」旨の回答があり、幹事推薦委員会の設立はしないことになった。

④柿沼会長より、テレビ朝日夕方の「スーパーJチャンネル」の若葉台取材が今週から来週にかけて入り、2/13に放送される旨の報告あり。⇒その後、放映日は2/20に変更された。

(3)協議会関係諸機関の情報等

まちづくりセンター報告：丸野部長代理より下記について報告あり。

・「キャンドー」跡の空き店舗に東急系の「らくティブ（60歳から始めるらくらく筋力アップ教室）」が入る。3/25開店の予定。

(4)管理組合間の情報交換

詳細は省略するが、今回は第3～第一組合について、各組合が抱えている諸問題について貴重な報告と情報交換があった。

2019年6月

○ 第10回役員会

2019年3月1日（金） 20時～22時15分、3－6棟「施設会議室」

（書記：第11住宅管理組合）

⑴前回議事録の確認　2月度役員会。

⑵委員会等の案内、報告

①CATV等委員会：鴻谷委員長より下記の報告あり。

4K視聴不具合の問い合わせが1件あり、訪問調査を予定。日程は調整中。

③幹事会：柿沼会長より下記について報告・説明あり。

・2/7のみらいづくりプラン推進会議で、都市計画審議会の開催が遅れており来年6月になりそうとの情報が入った。早めるよう公社を通して横浜市に要望している。

・2/16未来づくり協議会で、地域における新たな移動手段の充実プロジェクト、バスロータリー前売店の情報発信拠点へのリニューアル、来客用駐車場における運営会社タイムズ24導入、KYBオイルダンパー不具合調査の結果、若葉台の立体駐車場に防犯カメラ90台設置、等について報告があった。

・協議会設立30周年記念祝賀会は、当初、6/2の新旧合同役員会後の懇親会で行うことを考えていたが、ガイドブックの改定が間に合わないため、別途、10/6（日）に開催する。

・来年度の各委員会開催予定日時・場所に関する資料を配付。CATV等委員会は、来年度は休会を予定しているので、委員の選出は不要。

⑶こどもみらいづくり宣言への管理組合組織としての対応について（審議）

柿沼会長より資料に基づき幹事会案を説明。審議の結果、どこの棟のピロティを開放するのか等については、母の会等の側から提案して頂くのが筋ではないかとのことで、資料の「具体的な開放案について」の部分を削除することで了解された。

⑷協議会関係諸機関の情報等

丸野部長代理より、生活ガイドブック購入費用予算化の件について報告あり。

・ガイドブックは、センターにて4，800部、150ページにて見積もりを取ったところ、一部520円（税別）となった。

・協議会の30周年記念事業として行うので、全管理組合が購入するのが原則。第一は、購入しないと言っているが、一部不参加では記念事業として成り立たない。

・割り当ては、各管理組合の住戸数として、プラスαは各管理組合に委ねる。

⑸管理組合間の情報交換

第10管より、管理費滞納問題への対応として、弁護士契約を顧問契約とすべきかどうか打診があった。他の管理組合からは、「殆どの組合は個別案件ごとの対応としている。顧問料を払うことによって着手金不要等はあり得るが、年間の裁判案件の件数等によってメリット判断することが賢明では」という助言があった。

○ 第11回役員会

2019年4月5日（金） 20時～21時40分、3－6棟「施設会議室」

（書記：第12住宅管理組合）

2019年6月

冒頭、まちづくりセンター・野口理事より、若葉台まちづくりセンターの4月1日付新体制（人事異動・管理組合担当者の変更）について説明があり、かつ、各新体制担当より挨拶があった。

(1)前回議事録の確認　3月度役員会
(2)委員会等の案内・報告
①各委員長より、第5回委員会の概要について報告。
②生活ガイドブック編集委員会：柿沼委員長より報告あり。
・資料に基づいて、第7回、第8回委員会概要について報告。
・第一に対しては、本件は30周年記念事業としての全体活動である故、再度、書面（または面会）にて参加依頼する。
・他の管理組合からは、協議会の一員なら費用は負担するべき。全体で決めたことであり、民主主義の原則として参加するべきであり脱落が出ると各組合でも説明出来なくなる。反対なら決める時に議論すべき。等々の厳しい意見が出された。
③幹事会：柿沼会長より報告あり。
・3/3に自治会主催の高齢者地域見守り報告会に参加した。管理組合としても出席して、気づいていないことや課題を把握することが重要と感じた。
・3/4に駐車場問題に関する公社関係部署との第2回打合せを行った。課題整理を行い、いつ頃までに対応するのか等のマスタースケジュール提示を申し入れた。
・3/19にソフトバンクの技術を活かしたオンデマンドバスの地域関係者向け試乗会が行われた（住民向け試乗会は3/20～3/26）。今後、試乗会の評価・意見を検討した上で、運行体制づくりされる予定。
(3)管理組合間の情報交換
・柿沼会長より以下の様な報告あり。
若小の新入生は70名（2クラス）で、若中の卒業生は88名。この数年大きな変動はない。

○ 第12回役員会
2019年5月10日(金) 20時～22時20分、3－6棟「施設会議室」
（書記：第13住宅管理組合）
冒頭、柿沼会長より、新旧合同役員会＆懇親会の場所、時間に変更ある旨の連絡あり（場所は「しらかし」ではなく「とちのき」集会所となり、時間も18時～21時ではなく17時～20時となった）。 次いで、4/26に実施された「2018年度団地共益費監査」の結果について、センター・佐藤課長より説明があり、併せて、監査人（第5：西口理事長、協議会：金子監事）より、会計処理が適切に行われている旨の報告があり承認された。

(1)前回議事録の確認　4月度役員会
(2)委員会等の案内・報告
①CATV等委員会報告：鴻谷委員長より報告。
3月度役員会で報告したBS右旋4K放送の受信不具合は、イッツコム調査の結果、共用部ではなく家庭内での配線の問題であった旨、イッツコムより報告があった。

2019年6月

②生活ガイドブック編集委員会：柿沼委員長より報告。

校了は6月末頃になる予定。年度を跨ぐことになるが、現委員には引き続き協力して頂きたい。⇒了解。

③幹事会報告：柿沼会長より報告。

・4/5に泉妻連合事務局長が急逝された。4/15の告別式（家族葬）には柿沼会長が代表として参列した。後日、若葉台内で「お別れ会」が開かれる予定。

・4/20の若葉台未来づくり協議会、台風24号による若葉台樹林地の被害と復旧レポート、若小の全校たてわり活動、等について報告・説明。

(3)第一管問題に関する経過報告と対応方針（審議）

・資料配付はせずに、スライドによりメール等のやりとり資料を用いて経過報告。

・第一管のガイドブックに関する反対（分担金非拠出を含め）、その他協議会に対する非協力的な対応を打開すべく、話し合いの提案、メールのやりとり等、様々な努力をしたが前進はなかった。従って、会則8条2項により、本役員会にて14／15の賛成を得て「第一管の協議会除名」を決定。尚、分担金は請求せず、柿沼会長名の配達証明付きの除名通知（但し、弁明の場は設ける注釈付き）を発行する。以上のことは、次年度の理事長に申し送りする。

(4)「若葉台住宅管理組合協議会2019年度議案書」の骨格審議

－幹事より提案の「2019年度議案書」(5月度役員会用)に基づき説明－

①第3号議案・幹事及び監事選出の件（柿沼会長）

新任幹事として東マ・佐藤理事長に参加して頂くこと、福田幹事は退任を表明していたが、金子監事が再任出来ないため、監事として残ること、等を説明。

②第4号議案・2019年度活動計画（案）（柿沼会長）

活動計画案に沿って、順次説明。

④第2号議案・決算報告、第5号議案・予算案（蜂須賀会計）

5月31日付の予想決算数字であり、最終的なものと若干異なる。

以上の説明を受け、審議した結果、議案書骨格は了承された。

(5)協議会関係諸機関の情報等

・佐藤課長より、6/30センター主催セミナー（2019年度第1回）の件について報告。

・柿沼会長より、加藤副会長から「神管ネット7月号記事に若葉台内のどこかの管理組合の紹介記事を載せたいので協力願う」旨の依頼がきている。どこかにお願いできないか。⇒第3管・小池理事長に引き受けて頂いた。

2019年6月

委員会報告

1. 施設等委員会の報告

委員長　畠山 正

本年度の活動としては、2018 年度の議案書に記載された 5 項目のうち、下記の項目について協議、検討、情報共有を行いました。

1. アルミサッシの更新時期と交換方法について、既に採用された管理組合の実施例を紹介し、関連情報を共有する。
2. 修繕履歴情報システムの活用推進
   まちづくりセンターの各管理組合修繕履歴情報を活用する。
3. 長期修繕周期について
   100年マンションプロジェクトの成果と若葉台の実績を調査する。
   修繕工事の現場見学会を実施する。
4. 耐震工事の現場見学会
   3丁目賃貸住宅で施工された耐震工事の見学会を実施する。
5. 長期修繕の周期と設備配管の改修工法について

【 委員会活動 】

第 1 回　7 月 12 日(木)　20 時～21 時 30 分

1) 2017 年度活動報告及び 2018 年度活動計画
   協議会と施設等委員会の目的と趣旨、今年度施設等委員会としての取り組みを説明した。
2) 各管理組合の関心事項
   委員会で検討してほしい事項など情報交換を行った。
3) 施設に関する関心ごとについて、管理組合に持ち帰り情報収集を求めた。

第 2 回　9 月 13 日(木)　20 時～21 時 30 分

1) アルミサッシの更新時期と交換方法について
   藤井専門委員より別紙資料に基づき説明を受けた。
   ・アルミサッシの交換時期は 30～45 年。
   ・交換方法は 4 つの方法がある。(部品の交換、内窓の新設、ガラスの交換、サッシ本体の交換)
   ・第 10 管理組合、第一管理組合、東マンション組合では、サッシ本体の交換をカバー工法で実施した。
2) 施設等に関する各管理組合の関心ごと(各管理組合から)
   ・長期修繕、給水・排水配管について検討している。

第 3 回　11 月 8 日(木) 20 時～21 時 40 分

1) 修繕履歴情報システムの活用推進
   ・まちづくりセンター松原課長より、別紙資料に基づき説明を受けた。
   平成 25 年 4 月まちづくりセンターと各管理組合で情報開示についての締結をしている。

2019年6月

・各管理組合の修繕情報（修繕箇所、材料、単価、工事期間、業者）が履歴としてまちづくりセンターに保管している。
・各管理組合に本システムの情報を活用推進することを確認した。

2) 100 年マンションプロジェクトの成果と若葉台の実績
・まちづくりセンター松原課長より、大規模修繕工事の周期延長の資料に基づき説明を受けた。
・大規模修繕工事の延長は金額的にも利点があるが、100 年マンションプロジェクト仕様で検討している組合もあるが若葉台での実績はない。

3) 若葉台のフローリング施工基準について
・まちづくりセンター松原課長より、別紙資料に基づき説明を受けた。
・各管理組合の建物の床構造の違いにより、フローリング施工基準を定めている。

第 4 回　1 月 12 日(土) 10 時～11 時 40 分

1) 耐震改修工事現場見学会
・見学に先立ち、まちづくりセンター藤井専門委員より別紙資料に基づき説明を受けた。
・耐震補強は、耐震、免振、制震構造があり、3-4 棟は制震構造にて改修した。
・制震構造は、建物の揺れのエネルギーを吸収する部材（ダンパー）を入れて揺れを小さくする構造。
・制震構造について、補強原理、スラブ増し打ち、袖壁、耐震壁の説明、工事の流れの説明を受けた。

2) 若葉台賃貸住宅のリフォーム現場見学会
・見学に先立ち、まちづくりセンター藤井専門委員より別紙資料に基づき説明を受けた。
・住宅内の電気配線、給水、排水などのルートや構造、リフォーム時の注意点について説明を受けた。

第 5 回　3 月 14 日(木) 20 時～21 時 40 分

1) 長期修繕の周期と設備配管の改修工法について
・まちづくりセンター藤井専門委員より別紙資料に基づき説明を受けた。
集合住宅では、大きく分けて機械設備と電気設備がある。
・設備配管の持寿命は 25～40 年
・電気配管の寿命は 30～40 年

2) 改修工法
・基本的には更新工事となるが、配管内に樹脂を塗る更生方法もあり、排水管については若葉台で実施した組合もある。

3) 今年度の総括（意見交換）
・各組合の共通のテーマが出ない。
・大規模修繕工事の参考になった。
・アルミサッシの更新に興味があった。

2019年6月

委員会報告

2. CATV等委員会の報告

委員長 鴻谷 豊

活動報告

本年度は主に下記諮問事項の検討を行う予定であった。

諮問事項：若葉台での新4K8K衛星放送（BS並びに110度CSでの4K8K放送）の受信等に関して、将来を見据えて検討を行い、指針を作成する。検討に当たり、イッツコムによる棟内伝送路等の調査結果、並びに、その後のイッツコムからの提案をもとに検討を行い、指針の作成に繋げる。

しかし、イッツコムによる棟内伝送路の調査が具体化しないと検討が進められないため、調査が見えてくるまで委員会は休会とした。

12月1日に新4K8K衛星放送がスタートするに当たり、イッツコムによる棟内伝送路の調査が具体化していない状況であったが、イッツコムから、各棟内の既設テレビ共聴設備でBS右旋4K放送※1が受信できる可能性が高いとの連絡があった。そのため、10月18日にCATV等委員会を開催し、イッツコムから状況※2の説明、並びに、12月からのBS右旋4K放送の受信に関する対応※3の説明を受け、説明内容を委員会として承認した。

※1：BS朝日、BSテレ東、BS日テレ(2019年12月開始)、BS-TBS、BSフジ、並びに、NHKの4K放送

※2：試験放送の結果、変調の符号化率が変更になったこと等から、ご家庭で新4K衛星放送対応の受信装置を購入・設置すれば、若葉台の既設テレビ共聴設備でBS右旋4K放送が受信できる可能性が非常に高いと言える。

※3：各ご家庭で、新4K衛星放送に対応した受信装置（テレビ等）を購入・設置したがBS右旋4K放送の受信に不具合があった場合は、イッツコムへ連絡してイッツコムが調査を行う。調査の結果に基づき、対応を行う。

CATV等委員会は10月度の開催のみ

2019月年6月

委員会報告

3. 管理運営委員会の報告

委員長 福田　正勝

活動概要

本年度は、委員会を5回（7/13、9/14、11／9、1／18、3／8）開催し、「役員のなり手不足」、「管理費滞納について」の2項目に取り組みました。

第1回（2018年7月13日）（金）

・「理事の成り手不足」解消の各管理組合の対応策調査表配布と内容説明した。
・各委員から現状輪番制で選任しており特段の問題は生じていない。
・規模（戸数）、選出方法、任期等が異なるので一律に考えることは難しい。
　対応策：各管組合の基礎データの調査を実施する。

第2回（2018年9月14日）（金）

「理事のなり手不足まとめ」について説明、改善の指摘があった。
・各管理組合の回答がすべて記入されていない。
・管理規約と個人の意見の区別が不明である。
・各管理組合別に一覧表で作成をしてほしい。
　以上を踏まえて再作成配布をすることとした。

第3回（2018年11月9日）（金）

①「管理組合の基礎データ」の集計結果を検討した。
・集計結果は14管理組合の回答を得た。（未回答は1管理組合であった。）
・各管理組合の棟数、戸数に合わせて役員の人数を適正に運用している。
・役員任期については1管理組合を除き2年任期（半数交代制度）を実施している。
　1管理組合は規約1年だが実質2年任期で運用している。（2年目は立候補）
・役員選出方法は立候補を優先とし輪番制で運用している。
結果：今後、各管理組合が規約改定等に管理組合の基礎データが参考にできる。

②「理事の成り手不足」規約に関する調査回答の集計結果を検討した。
・集計結果は14管理組合の回答を得た。（未回答は1管理組合であった。）
・規約に外部専門家の活用については、ほとんどの管理組合が規約に定めていない。
　但し、専門的知識を有する者に対して相談、助言等を求めることが出来る条項がある。
・理事会への代理出席については、殆どの管理組合が条件付きで認めている。
・役員の資格要件は、殆どの管理組合が非居住者については対象としていない。
・役員の資格要件は、同居親族に枠を広げているところが多数ある。（条件に違いがある）
・役員任期については2年任期（半数交代）で運営されており、管理組合の業務が円滑に引継ぎされている。
・欠格条項、暴力団の排除規定については半数以上が規約で定めている。
・役員への報酬は半数が支払いを規約、細則で定めているが実質支払っているのは一部の管理組合である。

2019月年6月

結果：各管理組合の現状は立候補、輪番制等で運用しているが大きな問題は生じていない。近い将来、外部専門家を導入する組合が出る可能性はあり、慎重に検討する必要がある。

第4回（2019年1月18日）（金）

①「管理組合の基礎データ」「理事の成り手不足」の調査集計表を第4回委員会で指摘事項修正し検討した。

②「管理費滞納問題」を検討した。

管理費滞納者への対応について昨年11月25日まちづくりセンター主催のセミナー参加、標準管理規約に記載されている重要事項、基本的な手順等を説明した。

特に各管理組合の理事が取り扱う問題点として

・法的手続きに対しする心理的負担が大きい、ミスの不安もある。

・同じコミュニティーに同居している。

・善管注意義務等の法的リスクを負うことがある。

・理事会で内容等報告、検討されているが継続協議、経過観察等で後廻しにされている。

結果：標準管理規約第60条（1項～6項）を参考にして各管理組合の規約に各条項が定めているか確認と、また規約等に記載されている条項内容は確実に遂行することをお願いする。

第5回（2019年3月8日）（金）

1年間の総括

各委員が管理運営委員会（協議会）に取り上げてほしい問題、課題を発表した。

・植栽に関する問題（組合間の情報開示、今後発生する費用の問題等）

・理事会運営のアウトソーシング（費用負担の問題がある）

・開催日時の検討（今後、女性理事、委員の増が見込まれる）

・今後の管理運営委員会について（現状に合ったテーマを設定する）

2019月年6月

第2号議案

2018年度 決算報告

自 2018年 6月 1日
至 2019年 5月31日

(単位:円)

	予 算		実 績		2017年実績	
1 収入の部						
前年度繰越金	474,387		474,387		391,226	
管理組合年会費 (管理組合基本額:15組合×@15,000) (戸当り分担金 :5,195戸×@40)	432,800		432,800		432,800	
雑収入(会合費残金、利息)	15,000		15,523		12,952	
合 計	**922,187**		**922,710**	①	**836,978**	
2 支出の部						
事務用品費	30,000		12,309		22,616	
備品費	52,000		10,860		0	
通信費	10,000		9,340		7,340	
会議費	90,000		63,878		69,635	
研修・広報費(Ⅰ)	40,000		0		13,000	
研修・広報費(Ⅱ)	30,000		0		0	
調査・研究費	10,000		0		0	
浜管ネット年会費	125,000		125,000		125,000	
協賛金	70,000		80,000	※	70,000	
渉外・交通費	65,000		57,000		55,000	
慶弔金	10,000		5,000		0	
予備費	20,000		0		0	
合 計	**552,000**		**363,387**	②	**362,591**	
収・支差(繰越金残高)①−②	**370,187**		**559,323**		**474,387**	

<繰越金明細>

	<'6/1現在>	<'5/19現在>
横浜銀行口座残高	196,167	317,208
スルガ銀行口座残高	213,264	175,026
現 金	64,956	67,089
合 計	474,387	559,323

<協賛金明細>

・VOSC協賛金		30,000
・子育連絡会	※	10,000
・若葉台社協		30,000
・NPO法人若葉台		10,000
合 計		80,000

3 備品リスト

(1) パソコン 1式
- 本体・外付けハードディスク ２０１５年 ３月購入
- ウィルス対策ソフト (３ヶ年版) ２０１８年１１月購入

上記の通り相違ないことを認めます。

2019年5月19日

会計監査 金子三昭

2019年6月

第3号議案

2019年度幹事及び監事選出の件

（会則第4章〔幹事及び監事〕による）

＜ 幹 事 ＞（任期2年）

副 会 長（再）　加藤　壽六（第7住宅管理組合）

副 会 長
兼 会 計（再）　蜂須賀　益美（第12住宅管理組合）

幹　　事（再）　畠山　　正（第11住宅管理組合）

幹　　事（新）　佐藤　敏男（東マンション管理組合）

＜ 監 事 ＞（任期2年）

監　　事（新）　福田　正勝（若葉台くぬぎ）

なお、下記幹事2名は任期中です。

＜ 幹 事 ＞（残任期1年）

会　　長（再）　柿沼　鉄雄（第6住宅管理組合）

事務局長（再）　鴻谷　豊（第5住宅管理組合）

＜ 顧 問 ＞

顧　　問（再）　山本　育三（第3住宅管理組合）

2019年6月

第4号議案

2019年度活動計画（案）

1989年6月に若葉台住宅管理組合協議会（以下、協議会という）が発足して以来、本年6月で満30年が経過します。協議会では、加盟管理組合理事長で構成する役員会を毎月定期的に開催し共通する問題について協議するとともに、常設の委員会・小委員会や臨時の委員会などで検討を進め一定の結論を「答申」や「具申」、「指針」、「提言」（以下、答申等）という形で役員会に提起してきました。

昨年度も、3つの委員会・小委員会が活発に活動し、答申等を頂きました。ここに専門委員並びに構成管理組合より選出された委員の方々のご協力に感謝申し上げます。

若葉台の開発、入居が始まってから40年が経ち、協議会レベルでの取り組みと構成各管理組合との協働がより重要になっていることは、改めて言うまでもありません。

本年度もこのような状況を踏まえつつ、「マンションの長命化と再生」を共通の視点として、ハード面だけではなく付随するソフト面も含めて諸課題を解決していくため、以下の計画に沿って本年度の活動を進め、「100年マンション憲章」で掲げる理念の実現を目指して行くものとします。

1. 若葉台内住民組織等との協働について

「100年マンション憲章」の3項には、「住・緑環境」を守るために、「積極的かつ広域的に協調」して行くことを謳っており、本年度も引き続き、この線に沿って、若葉台内住民組織等との協働を図って行くものとします。特に、下記については、中心メンバーの一員として積極的に関与して行くものとします。

（1）若葉台未来づくり協議会

本会議は、2011年9月に組織されたもので、県住宅供給公社、若葉台まちづくりセンター、並びに、若葉台内の主要な住民組織代表が参加し、最近はほぼ2カ月に1回の頻度で開催されている。中心街の活性化を始めとする若葉台の活性化がメインテーマとなっており、活発な情報交換と意見交換の場となっている。

2015年には、同会議の議論の中から、将来を見据えたまちづくり構想、即ち、「横浜若葉台マスタープラン」策定の構想が生まれ、策定委員会としてのほぼ1年間の検討期間を経て、「横浜若葉台みらいづくりプラン」策定に至っている。

（2）横浜若葉台みらいづくりプラン推進会議

「横浜若葉台みらいづくりプラン」の策定は、2017年2月に終了したが、取り組みを実践し進捗を管理して行く機能が必要であることから、同12月より「横浜若葉台みらいづくりプラン推進会議」が組織され、現在、活発に活動している。

2019年6月

尚、本会議には、横浜市の「大規模団地再生モデル構築事業」との連携もあり旭区が主要メンバーとして参加している。

(3)若葉台福祉のまちづくり検討会議

同検討会議は、NPO法人若葉台が事業のとりまとめ役となり、地域の医療関係者、介護支援・生活支援事業者等を中心に、協働事業として検討を進めてきた「若葉台24時間見守り事業」の推進母体です。

本件の核となる「若葉台地域交流拠点ひまわり・あさがお」は、2016年3月に開所の運びとなったが、協議会としては、今後とも、主要な推進団体の一つとして、真に住民にとって信頼され役立つ事業となるよう、かつ、行政からの助成を受けることで事業として成り立つよう、運営面でも協力して行くものとします。

2. 100年マンションプロジェクト(WJP)について

本プロジェクトは、2016年4月の「WJP事業報告会」を以って一旦収束する運びとなったが、引き続きフォローアップが必要な課題も残っているため、協議会幹事等の限られたメンバーで対応して行く所存です。また、本プロジェクトの成果に関しては、昨年に続き、本年も東京都や外部管理組合組織から問い合わせ・取材等が来ています。協議会としては、この様な動きには、本年度も引き続き対応して行くものとします。

3. 共通イベントの計画について

(1)理事研修会について(8月上旬)

毎年、各管理組合では理事のほぼ半数が改選されるため、新しく理事に選出された方々を主たる対象に理事研修会を開催します。本年度は、時間帯を変更し、山本顧問、まちづくりセンターの協力を得る形で、「住棟での配管類の水漏れ事故対応について」をテーマに開催することを予定しています。

(2)協議会設立30周年記念祝賀会(10月上旬)

本年6月には、協議会設立30周年の節目を迎える事になります。協議会としては、このタイミングに合わせ、昨年度より「知っておきたいマンションライフ」～若葉台管理ガイドブック～2019年全面改訂版の発行を目指し編集委員会を立ち上げていますが、現実には印刷完了は本年9月頃になると思われます。

従って、本年10月を目途に、多くの若葉台内関係者等を招待する形で、協議会設立30周年記念祝賀会を開催する事にします。

尚、管理ガイドブックという呼称は、多くの住民に、より親しんで頂きたいという思いから、生活ガイドブックと改める事にしています。

2019年6月

(3)若葉台住民シンポジウムについて

本シンポジウムは、管理組合理事だけではなく、一般組合員も興味・関心が持てるテーマを選定し、構成管理組合の協力のもと、実行委員会を組織し、隔年で開催しています。但し、本年度は、本年10月に「協議会設立30周年記念祝賀会」があり、十分な準備期間が取れないため、開催を1年先送りし、来年度開催に向けて、企画・検討のみを行うものとします。

(4)住宅管理に関する定期懇談会について(12月度役員会時)

「若葉台の住宅管理に関する諸課題についての意見交換と認識の共有」を目的として、例年通り、県住宅供給公社並びに若葉台まちづくりセンターを交えた懇談会を開催します。

4. 施設等委員会の取り組み

今年度は、前年度の活動結果を踏まえ、施設等に関する以下の4点を主要課題として取り組みます。

(1)若葉台住民シンポジウムのテーマ検討

来年度開催予定の「若葉台住民シンポジウム」のテーマを検討する。

(2)大規模修繕工事等の周期について

100年マンションプロジェクトの成果を念頭に若葉台の実態を調査する。

(アルミサッシ更新、配管・電気等の設備改修なども含む)

(3)大規模修繕工事の現場見学会

今年度実施する組合の大規模修繕工事の見学会を実施する。

(4)その他

・各委員の関心事である提案と意見の検討

・汚水管・排水管のサンプル調査

・省エネ関連の情報収集・周知・検討

5. CATV等委員会の取り組み

本年度は下記理由により休会とする。

理由:昨年度検討できなかった事項※1に関して、イッツコムの調査日程が明確にならないことを踏まえて、休会とする。尚、専門委員を中心に構成しているCATV等小委員会は、必要に応じて※2開催する。

※1:若葉台での新4K8K衛星放送(BS並びに110度CSでの4K8K放送)の受信等に関して、将来を見据えて検討を行い、指針を作成する。

検討に当たり、イッツコムによる棟内伝送路等の調査結果、並びに、その後のイッツコムからの提案をもとに検討を行い、指針の作成に繋げる。

2019年6月

※2：①イッツコムの調査に関して、イッツコムから相談があった場合。
②NTT東日本等から、通信の高速化に関連する新たな情報があった場合。
③その他、CATV等委員会に関係する事項が発生した場合。

6. 管理運営委員会の取り組み

本委員会はマンションの管理運営に関する様々な問題について調査・検討を行い、より良い住環境の方策を提案・提言したいと考えています。

本年度は下記を主要課題として取組みます。

(1)団地共益費の現状と今後について

団地共益費については、今後費用面で厳しくなることが想定される。現在、まちづくりセンターで長期修繕計画に関して、見直しを行っている。2019年度の消費税の増税、人件費や資材の値上げ等を含めてシミュレーションを行う。(昨年の定期懇談会での公社発言からの抜粋)

従って、公社から団地共益費の値上げ申請があった時点で、管理運営委員会にて詳細検討して行くものとする。

(2)防災組織等の現況調査

東日本大震災の復興もまだまだというところに、2016年4月の熊本地震が発生した。今後も、南海トラフ地震や首都直下型地震の危険性が指摘されている。

従って、防災対策の重点項目を選定し、各管理組合の現状を調査する。既に自主防災組織を構築、稼働している管理組合からの情報提供によりバージョンアップを図り、今後、防災組織を立ち上げる管理組合の指標を提案する。

7. NPO 横浜マンション管理組合ネットワークへの協力

「NPO法人横浜マンション管理組合ネットワーク」(略称「浜管ネット」)(1996年6月創立、1999年10月 NPO法人化)には、多くの正会員・賛助会員が加入し、活発に事業活動が行われています。

同ネットには、創立当初より団体正会員(協議会組織)として参画しており、当協議会からは、現在、加藤副会長が同ネットの会長の任にあります(神管ネットの会長も兼任)。今後とも同ネット事業の企画・展開に積極的に協力して行くものとします。

2019年6月

8. 広報活動について

協議会より構成管理組合向けの広報としては、旧来、各委員会や関連会議等の報告および各管理組合の広報誌を役員会時に配付し、管理組合間の情報交換を行ってきました。

2014年度からは、役員会用Webを立ち上げ、役員会時の配付資料等の一部のアップを実施しています。併せて、協議会幹事と各管理組合理事長間の電子メールによる情報連絡網を整備し、防犯情報等の速報に役立てています。

更に、2017度には、旧来の協議会ホームページ（2011年度まで情報が掲載されているが、手を加えられない状況にあった）を廃止し、新たな協議会のホームページを立ち上げました。

また、2015年度からは連合自治会の広報誌「みんなの若葉台」の2面に管理組合枠を確保できることになり、各管理組合にも持ち回りで記事の提供等をお願いしているところです。

以上の計画の推進に当たっては、協議会会則に制定の100年マンション憲章（前文）、目的（第2条）および性格（第3条）を踏まえ、構成管理組合の自主性、独立性を尊重しながら、実施して行きます。

2019年6月

第5号議案

2019年度　予算(案)

自　2019年　6月　1日
至　2020年　5月31日

(単位:円)

	予　算	備　考
1 収入の部		
前年度繰越金	559,323	
管理組合年会費 (管理組合基本額: 14組合×@15,000) (戸当り分担金　:　4,533戸×@40)	391,320	
雑収入	15,000	会合費残金、利息
合計　①	**965,643**	
2 支出の部		
事務費	30,000	事務用品・ﾌﾟﾘﾝﾀｰｲﾝｸ代
備品費	52,000	書棚
通信費	10,000	
会議費	90,000	役員会・委員会等会場費・飲物代
研修・広報費(Ⅰ)	30,000	研修会・広報関係費
研修・広報費(Ⅱ)	100,000	協議会30周年記念事業費
調査・研究費	10,000	
浜管ﾈｯﾄ年会費	118,000	浜管ﾈｯﾄﾜｰｸ年会費
協賛金	80,000	※VOSC・若葉台社協・NPO若葉台・子育て
渉外・交通費	65,000	
慶弔金	10,000	
予備費	20,000	
合計　②	**615,000**	
3 収支差　①－②	**350,643**	次年度への繰越金

各管理組合構成住戸数(積算基礎数)

(法)東ﾏﾝｼｮﾝ	642	第9住宅管理組合	38
第3住宅管理組合	44	第10住宅管理組合	260
(法)若葉台くぬぎ	883	第11住宅管理組合	199
第5住宅管理組合	816	第12住宅管理組合	199
第6住宅管理組合	39	第13住宅管理組合	106
第7住宅管理組合	420	第14住宅管理組合	107
第8住宅管理組合	474	第15住宅管理組合	306
		総計	**4,533**

＜協賛金内訳＞
VOSC:若葉台スポーツ文化クラブ
若葉台社協:若葉台地区社会福祉協議会
NPO若葉台:認定NPO法人若葉台
子育:子育てささえあい連絡会

2019年6月